

日興ブラジル株式ファンド ＜愛称 情熱の国＞

追加型投信／海外／株式

償還 交付運用報告書

第15期（償還日2024年9月24日）

作成対象期間（2023年9月26日～2024年9月24日）

第15期末（2024年9月24日）	
償還価額（税込み）	9,815円65銭
純資産総額	982百万円
第15期	
騰落率	△6.3%
分配金（税込み）合計	—円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興ブラジル株式ファンド」は、2024年9月24日に償還いたしました。

当ファンドは、主として、ブラジルの株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっておりました。

ここに、信託期間中の運用経過等についてご報告申し上げます。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<652830>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

設定以来の基準価額等の推移

(2009年12月21日～2024年9月24日)



設 定 日 : 10,000円
 期 末 (償 還 日) : 9,815円65銭 (既払分配金 (税込み) : 0円)
 騰 落 率 : $\Delta 1.8\%$ (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ボベスバ指数 (円換算ベース) は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ボベスバ指数 (円換算ベース) は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、ブラジルの株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっておりま。信託期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- 政治要因 (2016年～2019年)。特に、2016年のルセフ大統領の弾劾裁判による罷免は、一連のマクロ経済的失策の終わりと自由化改革の始まりを意味し、ブラジル資産の力強い上昇と、より近代的で責任ある国への希望を示す時期となったこと。最も重要な変更点としては、労働改革、社会保障改革、連邦政府の歳出上限枠の設定が挙げられます。
- 新型コロナウイルスの世界的な大流行 (パンデミック) による規制が2023年に解除され、それまでの2年間で蓄積された繰り越し需要から力強い経済成長がもたらされたこと。

<値下がり要因>

- ・政治要因（2010年～2015年）。労働者党のルセフ政権が経済的に大失敗し、国を史上最悪の不況に導いたこと。「新しい経済マトリックス」と言われる政策の実施により、それまでの経済の柱の1つであった基礎的財政収支の黒字化が頓挫し、政治汚職が蔓延したこと。
- ・新型コロナウイルスのパンデミック（2020年～2022年）。パンデミックが経済活動を実質的に2年間凍結させ、新たなトレンドを加速させ、相対価格の変化をもたらしたこと。
- ・政治要因（2022年）。2022年を通じて、当時の政権はボルソナロ大統領の再選を促すために、経済政策でいくつかの誤りを犯したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2023年9月26日～2024年9月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 198	% 1.843	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(95)	(0.878)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(95)	(0.878)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供などの対価
(受託会社)	(9)	(0.088)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	51	0.477	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(51)	(0.477)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	27	0.248	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	(27)	(0.248)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	80	0.738	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(72)	(0.670)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用等)	(6)	(0.056)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
(その他)	(1)	(0.007)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	356	3.306	
期中の平均基準価額は、10,769円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

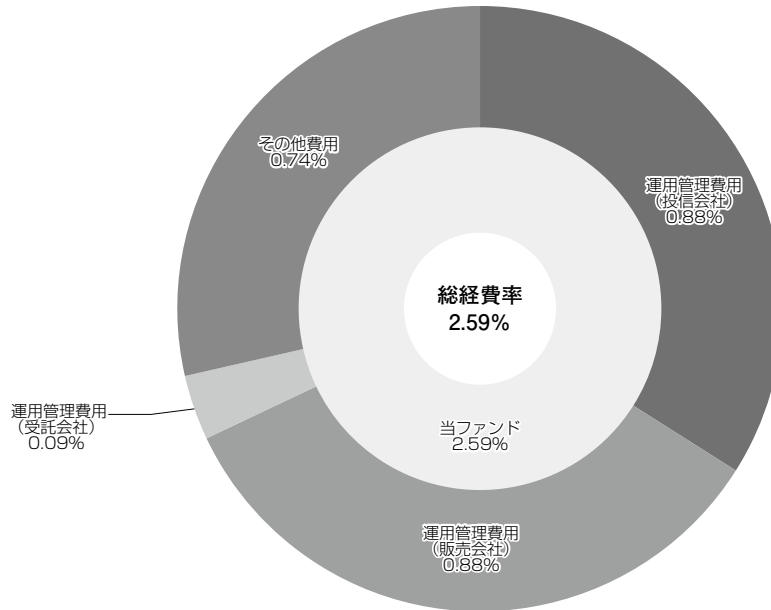
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.59%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

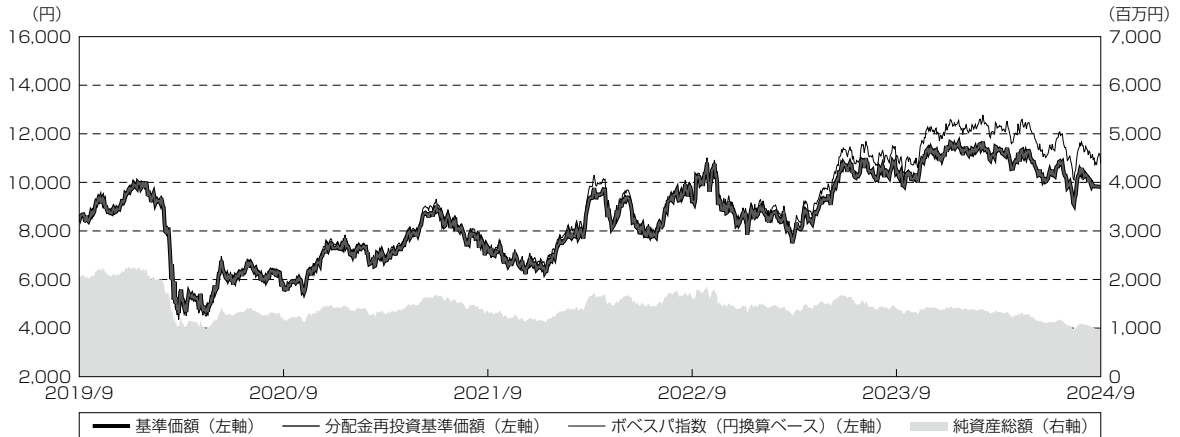
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年9月24日～2024年9月24日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびボVESPA指数(円換算ベース)は、2019年9月24日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年9月24日 決算日	2020年9月24日 決算日	2021年9月24日 決算日	2022年9月26日 決算日	2023年9月25日 決算日	2024年9月24日 償還日
基準価額 (円)	8,609	5,713	7,403	9,618	10,480	9,815.65
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△33.6	29.6	29.9	9.0	△6.3
ボVESPA指数(円換算ベース)騰落率 (%)	—	△33.3	31.6	28.7	14.1	△2.9
純資産総額 (百万円)	2,066	1,187	1,365	1,682	1,403	982

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) ボVESPA指数(円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。
参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2009年12月21日～2024年9月24日)

(株式市況)

ブラジルの代表的な株価指数であるボベスパ指数は、2009年12月21日から現地通貨ベースで約100%上昇しました。株式市場については、名目ベースで大きく上昇しましたが、同期間の約130%を超えるインフレ率を考慮すると、期待外れの結果となりました。また、ブラジルレアルが対アメリカドルで約7割、対円で約5割下落したため、円換算でのボベスパ指数のリターンは約15年間でほぼ横ばいとなりました。前述の通り、ブラジル経済は失政、汚職スキャンダル、パンデミックなどで多くの被害を受け、史上最悪の不況に見舞われたため、株式市場は期待外れのパフォーマンスとなりました。

(為替市況)

信託期間中における円／ブラジルレアル相場は、右記の推移となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2009年12月21日～2024年9月24日)

(当ファンド)

当ファンドは、「ブラジル・ストック・マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

当ファンドは2009年12月21日の設定以来、約14年9ヵ月にわたり運用してまいりました。このたび、約款の規定に基づき、信託終了日を2024年9月24日として償還いたしました。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(ブラジル・ストック・マザーファンド)

ポートフォリオの構築にあたっては、トップダウン分析も考慮しつつ、徹底したボトムアップによる個別企業調査に基づいて銘柄の選定を行ないました。

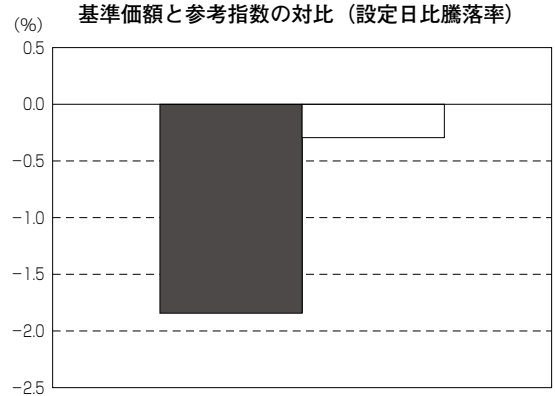
主に、素材セクターへの配分効果がマイナスに影響しました。一方、公益事業セクターにおける銘柄選択や、金融セクターへの配分効果がプラスに寄与しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

(2009年12月21日～2024年9月24日)



■ 基準価額 □ ボブスバ指数 (円換算ベース)

(注) 基準価額の騰落率は分配金再投資ベースです。

(注) ボブスバ指数 (円換算ベース) は当ファンドの参考指数です。

分配金

(2009年12月21日～2024年9月24日)

信託期間中における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、分配を見送りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

お知らせ

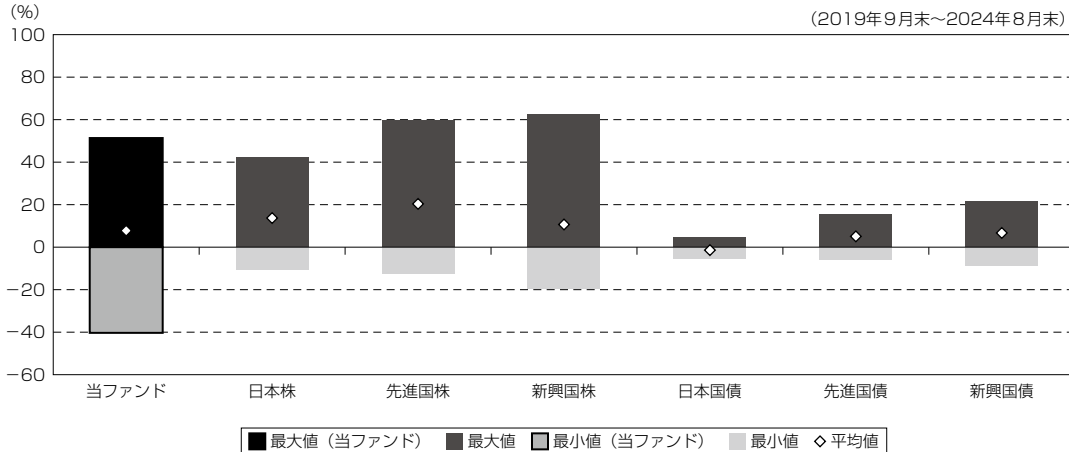
2023年9月26日から2024年9月24日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2009年12月21日から2024年9月24日までです。	
運用方針	主として「ブラジル・ストック・マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興ブラジル株式ファンド	「ブラジル・ストック・マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ブラジル・ストック・マザーファンド	ブラジル企業が発行する金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	ブラジルの株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。大型株式だけでなく、中小型株式などを含めた幅広い投資対象から組入銘柄を選定します。原則として、為替ヘッジは行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	51.3	42.1	59.8	62.7	4.4	15.3	21.5
最小値	△40.3	△10.4	△12.4	△19.4	△5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	7.8	13.7	20.4	10.7	△1.4	5.1	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年9月から2024年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●ボベスパ指数 (円換算ベース)

ボベスパ指数とは、サンパウロ証券取引所の上場銘柄のうち、流動性の高い銘柄群で構成される、ブラジルを代表する株価指数です。同指数の (円換算ベース) とは、公表指数をもとに円換算したものです。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年9月24日現在)

2024年9月24日現在、有価証券等の組入れはございません。

※組み入れているマザーファンドの直近の計算期間の内容につきましては、償還 運用報告書（全体版）に記載しております。

純資産等

項 目	第15期末（償還日）
	2024年9月24日
純 資 産 総 額	982,053,878円
受 益 権 総 口 数	1,000,498,114口
1 万 口 当 たり 償 還 価 額	9,815円65銭

(注) 期中における追加設定元本額は98,433,410円、同解約元本額は436,802,072円です。